

公益財団法人いわき市国際交流協会
平成31年度 事業計画

基本方針

I 多文化共生社会の推進

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくという「多文化共生」に対する市民意識の向上を図る。

II 市内居住外国人に対する生活支援

大規模災害のような緊急時にも地域市民が共助できる社会を目指し、外国人にとって暮らしやすい安心・安全な環境づくりの推進を図る。

III 多言語化の推進及び情報発信

いわき市の正確な行政情報や、本協会の理念や取組みを市内居住外国人や海外の方へ広く情報発信を行う。

IV 関係機関等との連携・協力

関係機関との連携や協力による、市民の積極的な国際交流の活動や、多文化共生意識の醸成を図る。

I 多文化共生社会の推進

6,683千円

【事業概要】

多文化共生意識の醸成を図り、多文化共生にかかる地域の担い手を育成する事業。

1 国際理解教育推進事業

2,382千円

多文化共生社会の実現のため、市民の多文化共生意識の醸成を図り、多文化共生にかかる地域の担い手を育成するため、市内で各種講座等を開催する。

(1) 異文化理解講座

市民が外国の文化を、また、日本やいわきの文化を相互に理解する講座等の開催する。
(外国語講座、外国料理教室、外国文化・日本文化体験講座等)

(2) ホームビジット(体験的滞在)やホームステイ

外国出身者が日本人家庭の生活文化を体験し、日本文化に理解を深めると同時に、日本人家庭においては交流を通じて外国文化への理解を深める。

2 多文化共生相談事業

4,301千円

多文化共生相談員を配置し、多文化共生に関する相談窓口を設置して随時相談にあたるほか、外国人やその関係者を含む市民同士の語り合いの場の提供を行う。

(1) 多文化共生相談事業

多文化共生相談員を設置し、外国人と外国人の配偶者等を持つ日本人が抱える悩みの傾聴と相談専門機関等への橋渡しを行う。

- 受付日時 8:30～17:15（平日）

(2) コミュニティ・かふえ

外国人やその関係者を含む市民同士の語り合いの場を提供する。

- 目的：外国人を含む市民同士の交流
- 対象：外国人を含む市民
- 場所：生涯学習プラザ等、日本語教室終了後同会場で開催
- 内容：日本語で気楽に話し、友だちを作る。

II 市内居住外国人に対する生活支援

6,101千円

【事業概要】

大規模災害のような緊急時にも地域住民が共助できる社会を目指し、外国人にとって暮らしやすい安心・安全な環境づくりを行う事業。

1 コミュニケーション支援事業

4,378千円

(1) 日本語教室の実施

市内居住外国人への生活支援の一つとして、外国人が日本語及び日本語学習を通じて日本文化や習慣・きまり等を習得し、地域住民との円滑なコミュニケーションができるようにするための「日本語教室」を開催する。

- 目的：日本における生活力の向上
- 対象：外国にルーツを持つ方
- 場所：生涯学習プラザ等
- 内容：前・後期 各4クラス(A、Cクラス 各8回、B、Dクラス 各10回)
 - Aクラス 「話す」ことを中心に、生活に必要な日本語の基礎を学ぶ。
 - Bクラス 「話す」ことを中心に、「書く」ことも含め日本語のレベルアップを図る。
 - Cクラス 「書く」ことを中心に、四技能のレベルアップを図る。
 - Dクラス 効果的なコミュニケーション能力を身につける。

(2) 日本語支援ボランティア養成講座等の開催

市内居住外国人への日本語を支援するためのボランティア養成講座やボランティア同士のネットワークを構築するボランティアミーティングを開催する。

① 日本語支援ボランティア養成講座

- 目的：日本語支援ボランティアの養成とレベルアップ
- 対象：日本語支援に関心のある方
- 場所：生涯学習プラザ等
- 内容：日本語の教え方

② 日本語支援ボランティアミーティング

- 目的：日本語支援活動のネットワーク構築とスキルアップ
- 対象：日本語支援ボランティア
- 場所：生涯学習プラザ等
- 内容：日本語支援ボランティアのネットワークを構築し、活動に向けたよりよい教授法の検討等を行う。

2 市民活動支援事業

1,356千円

市民主体の積極的な国際交流活動を促進するため、国際交流や多文化共生などの事業に参画する「国際交流ボランティア」の登録推進や市民主体の活動への支援を行う事業。

- 国際交流ボランティアの募集と活用（通訳、ホームビジット等の受け入れ）
- 通訳ボランティア研修会の開催
- オーダーメイドプラン（会報紙等への情報掲載と活動会場確保等の支援）
- 国際理解講座への講師派遣

3 専門分野における外部講師活用事業

367千円

外国人が生活していくうえで必要となる法律など専門的な知識を必要とする分野について講座等を実施するとともに、心理関係の専門家の協力を得て外国にルーツを持つ方たちの精神的ケアを実施する。

Ⅲ 多言語化の推進及び情報発信

4,335千円

【事業概要】

いわき市の正確な行政情報や本協会の理念や取組みを、市内居住外国人や海外の方へ広く情報発信を行う事業。

1 多言語化事業

2,564千円

市公式ホームページの翻訳監修と、外国人が生活していくうえで必要な行政情報などの翻訳を実施する。

2 情報発信事業

1,771千円

(1) 会報「ワールド・アイ」の発行

- 発行月： 月1回
- 仕様： A4版8頁、各回1,000部、ルビ付き、英語・中国語・韓国語訳
- 内容： 当協会の主催事業の案内と報告、多文化共生に係る情報
- 配布先： 賛助会員、役員、公共機関、小中学校、高等学校、私・市立幼稚園
保育所、保育園

※10月以降、発行回数を見直し、3月毎に1回とする。

(2) ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッター、メールマガジン)による情報発信

【事業概要】

関係機関との連携や協力による、市民の積極的な国際交流活動や多文化共生意識の醸成を図るための事業。

1 関係機関との連携事業

831千円

- (1) 本市の国際交流活動を推進するための福島県内外の民間国際交流団体等との連携。
- (2) 一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー等が実施するインバウンド事業への参画。
- (3) 居住外国人の協力を得て、市民の防災意識を高めるため、いわき市と連携した福島県防災訓練への参加。(10月予定)

2 国際協力活動への協力事業

15千円

身近にできる国際協力活動の推進を図るため、市民の協力を得て、古切手、使用済みプリペイドカード、書き損じのはがき等について寄付を受け、国際協力関係団体を通して国際協力活動の支援を行う。

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
(第7期: 平成31年4月1日～平成32年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

第7期(平成31年4月1日～平成32年3月31日)中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

第7期(平成31年4月1日～平成32年3月31日)中に設備投資の予定はありません。

平成31年3月15日提出

公益財団法人いわき市国際交流協会
理事長 渡辺 仁